

昭和61年4月8日～5月2日  
大学図書館2階展示ホール

## 奈良絵本

奈良絵は、奈良の絵仏師の筆になった挿絵であったところから自然に生じた名称と言われるが、諸説あり、不明である。絵巻物の系統を引き、室町時代中期から江戸期（元和・寛永頃）まで盛んに作られた。構図は、殆んどのが、天地に金泥のすやり霞と呼ばれる雲形を配し、彩色は、鮮かで、金泥・金銀箔の使用がめだつ。

主に、御伽草子関係の本に多く存在する。

今回は、この奈良絵本を展示する。

- 1 おちくほ (山岸文庫)  
写本十二冊 大本 十行書き 奈良絵 各冊4～6枚 題簽「おちくほ」  
平安期の物語「落窪物語」の翻案で、六角堂の観音靈驗談である。
- 2 おちくほ (常磐松文庫)  
写本三冊 大本 十行書き 奈良絵 上巻6枚・中巻6枚・下巻7枚 紺地金泥  
絵表紙 [寛文・延宝頃]写 題簽「おちくほ 春之上, 中, 下」  
一般的な「落窪草子」とは、内容的に差異があり、異本とみられる。
- 3 おちくほ (常磐松文庫)  
写本一冊 大本 十行書き 奈良絵 14枚 紺地金泥絵表紙 [寛文・延宝頃]  
写 題簽「おちくほ 秋上」  
石川透氏によると、アイルランド・チェスター・ビューティ図書館蔵「四季さ  
うし 夏之上, 下」(二帖)・市古貞次氏蔵「佚名物語」(三冊)と本学所蔵の  
2, 3の「おちくほ」の四本を合わせて、一つの作品の一部を構成するもので、  
一般的な「落窪草子」とは、別本であるとの指摘がある。
- 4 わか草 (常磐松文庫)  
写本三冊 大本 十行書き 奈良絵 各冊7枚 奥書なし [延宝頃]写  
公家物の恋愛・継子譚である。一般的な「若草物語」では、若草は、宇治川に  
身を投げて死ぬ結末であるが、本書は清水観音の導きにより若草は救われて中將  
とともに栄えるという結末になっている。  
慶応義塾図書館蔵写本(三冊)と同系統の異本である。

- 5 さごろも (常磐松文庫)  
写本三冊 半紙判 十行書き 綴帖装 奈良絵 各冊4枚 奥書・内題なし  
原題簽・原表紙  
平安期の物語「狭衣物語」の狭衣大将と飛鳥井姫の恋物語の部分を潤色したも  
の。諸本によって作品の結末など差異が著しい。
- 6 つれづれ草 (常磐松文庫)  
写本三冊 半紙判 十行書き 綴帖装 奥書・内題なし [寛文頃]写  
「徒然草」に挿絵として、淡彩色の細密画を配したもの。
- 7 しゅてんどうじ (常磐松文庫)  
折本三帖 表裏共折込帖装 大本 奥書・内題なし [寛文頃]写 箱書「大江山」  
この折本は、もと卷子本であったものを装幀しなおしたものである。  
源頼光が、大江山の鬼「酒吞童子」を、住吉・石清水・熊野の三社の神の助け  
を受けて、退治する英雄武勇譚。
- 8 栄花物語 (常磐松文庫)  
写本三冊 柘形本 紺地紋織表紙 題簽及び見返金泥雲形 十一行書き 奈良絵  
巻一、二は5枚・巻三は4枚 奥書なし  
内容は、月のえん・花山たづぬる中納言・さまざまのよろこびの各巻。  
藤原道長の栄華を主として描いた歴史物語。本来、正編三十巻・続編十巻の長  
篇であるが、本書は、三巻を存すのみである。
- 9 たわら藤太 (常磐松文庫)  
写本二冊 横綴本 紺地金泥模様表紙 奈良絵 上巻6枚・下巻7枚 奥書・内  
題なし 識語付箱蓋を存す。朱題簽  
武人、田原藤太秀郷の英雄武勇譚。上巻は、三上山の百足退治。下巻は、平将  
門を射殺する物語。
- 10 住吉物語 (常磐松文庫)  
卷子本二軸 24.2cm 奈良絵 上巻8枚・下巻7枚 奥書なし [寛文頃]  
写 [藤井乙男本]  
継子譚。平安時代の古本を改作したものが、現存本といわれる。長谷観音の靈  
驗を唱導した説話物語である。
- 11 蓬萊山 (常磐松文庫)  
卷子本二軸 25.3cm 奈良絵 上巻5枚・下巻4枚 奥書・内題なし  
蓬萊山にあるという不老不死の靈薬に関する話を中心に、蓬萊山の由来・景勝  
など和漢の諸伝説を集めたもの。